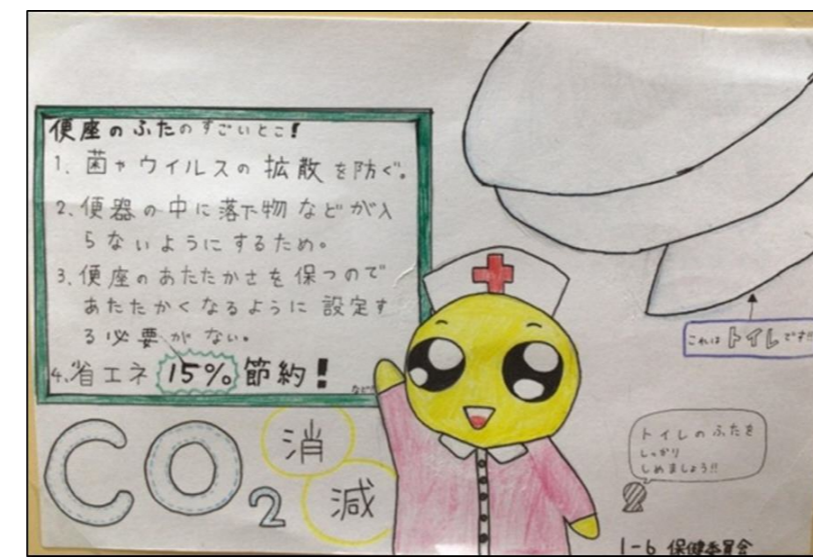




## ○ 節水・節電

- ・エアコン使用規定に基づき、エアコンの開始時刻をずらして使用するとともに、夏期は扇風機を併用、冬期は2時間目まではファンヒーター、その後はエアコンに切り替えることで、デマンド値を抑制しながら効率良く室温を管理した。
- ・冬期は、適切な温度管理をしながら「ひざ掛けの利用」とウィンドブレーカー等の「上着着用」を推奨し、過度な暖房を抑制した。
- ・節水・節電を呼びかけるポスターを掲示するとともに、清掃時には、バケツに入れる水の量を減らすよう呼びかけ、節水に対する意識を喚起した。
- ・トイレ洋式便座の蓋を閉めるようポスターで呼びかけ、さらに、設定温度を管理し節電に努めた。
- ・使用しない教室、日中の廊下等の消灯を徹底し、職員室等においては、使用するエリアのみの照明を点灯するよう心がけた。



## ○ 学校における環境教育

- ・図書委員会において、SDGsに関連する本の紹介及びポスター掲示を行い、環境問題に対する意識啓発を図った。
- ・2学年において「9年後の未来をよくするために私たちにできること」をテーマに調べ学習を行った。学んだことをSDGsクリエイティブアイデア学年発表会で発表した。
- ・1学年において「森林環境学習」を行い、自然散策や間伐材を利用したものづくりを通して森林保全や環境保護への意識啓発を図った。
- ・家庭科の調理実習において、生ゴミ入れや油の拭き取りに新聞紙を活用するなど、誰にでもできるエコライフな取り組みを実践した。



## ○ 学校における環境保全活動

- ・生徒会総会、各種アンケート、職員会議等をペーパレス化し、用紙削減を図った。
- ・各教室及び印刷室に使用済み用紙の回収ボックスを設置し、裏面活用を推進した。
- ・給食の残量を全校生徒に周知するとともに、完食を呼びかけるポスターを掲示してフードロス削減に努めた。
- ・職員用給湯室におけるゴミの分別を徹底した。
- ・職員用給湯室にカフェコーナーを設置してマイボトル・マイカップ利用を推進し、使い捨て容器のゴミ削減に努めた。また、給湯には、電気を使用しないガラス魔法瓶を活用した。



## ○ 成果と課題

- ・今年度は、二酸化炭素排出量の削減目標を0.5%と定め、生徒会及び専門委員会を中心にSDGs実現に向けた取り組みを推進し、節電・節水、省エネ、リサイクル活動を行った。結果、前年度比▲6.52%(1035.6kg-CO<sub>2</sub>)で目標を達成することができた。
- ・各教科での学習、また、SDGsクリエイティブアイデア発表会などを通して、地球温暖化の原因が身近なところにあることに気づくことができた。また、地球温暖化防止を意識した生活に関心をもち、自分たちにできることは何かを考え、実践することができた。
- ・今後は、家庭や地域と連携した総ぐるみの活動を推進することで、環境保全意識や郷土愛を育てながら循環型社会の実現を図っていきたい。

